大分県議会議員　木田　昇

たけのこ

第31号　県議会広報　2022-初春

発行
大分県議会県民クラブ
大分市大手町 3-1-1
TEL：097-506-5088
FAX：097-538-0136
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/

福寿草（竹田市直入町 籾山八幡社）

題字：草刈樵峰

厳しさを乗り越え　希望ある年の訪れ

新しい年の幕が開けました。旧年中に賜りました皆様からの心温まる御支援に心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、全世界に脅威をもたらす「新型コロナ」の人への感染発覚から、早や二年が経とうとしています。第五波の収束後はウイルスの「死滅説」も言われましたが、新たな変異株が検出される一方、ワクチン接種がありながらも、感染拡大が再燃化するなど、完全には安心できず予断が許されない状況が続いています。

長引く「コロナ禍」のなかで、様々な自粛が続き、社会経済の疲弊とともに厳しい暮らしを強いられる方も多くあります。昨年末の国や地方の補正予算の追加により事業継続や生活支援策が投じられていますが、なおもって真に必要な支援が行き届いているか十分に検証し対応を図る必要があります。

今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」です。「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれる年」だと言われるとおり、「コロナ禍」が終息し希望ある日が訪れることを強く念じます。

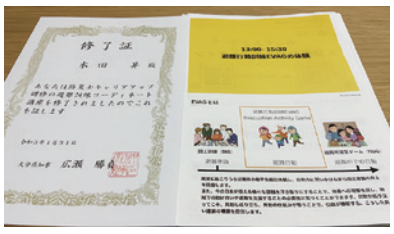
そうした希望ある明日、そして活力ある大分づくりのため全力で頑張らねばと心新たに決意するところです。

結びに、新年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

二〇二二年　元旦

振り返る2021年

1月



▶**防災士キャリアアップ研修（県庁正庁ホール）**
避難行動訓練「EVAG」と「マイタイムライン」の作成実習を体験。ステップアップの成果を、今後の防災・減災活動に活用。

▷**講演「万物は渋滞する～シゴトの渋滞解消の法則」：東京大学先端技術研究センター　教授　西成　活裕　氏**

2月

▶**大分市議会議員選挙**
定数44に対し、現職43人と新人15人の計58人が立候補。結果は現職37人、新人７人が当選。新型コロナの影響もあってか、投票率は前回から2％減の46.18％と低迷。

▷**セミナー「波を描く新型コロナウイルスへの自治体からの対応」：東京大学先端科学技術研究センター　名誉教授　児玉　龍彦　氏、第１回定例県議会開会**

3月

▷**「アフターコロナをみすえた大分県観光の再生に向けて」：大分経済同友会　クリエイティブ大分委員会**

▶**県議会手話講座**
大分県手話言語条例の制定を受け、手話講座を議員全体で受講し、挨拶や自己紹介等を習得。手話への理解と普及促進につなげていきたい。

▷**第１回定例県議会閉会**

4月

▷**県議会政策勉強会「ロシアの外交政策と日露関係」：駐日ロシア連邦特命全権大使　ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン　氏**

▶**佐賀関地区自然保護活動**
大分市近郊の「こうざき自然海浜公園海水浴場」の海岸清掃活動と準絶滅危惧種「ハマボウ」の増殖活動に参加。地域コミュニティの力で自然公園の整備を進める。

5月

▶**県内所管事務調査（別府市：竹工芸訓練センター他）**
本県の代表的な伝統工芸「竹工芸品」の製作技術から販売までを担える人材育成を行う。訓練期間は２年で、入学金・授業料はともに無料。

▷**自治労自治体議員連合全国学習会「地方自治の課題」：早稲田大学公共経営大学院教授　片山　善博　氏**

2022年大分県政　新たな展望

■ 大分から人工衛星を初打ち上げ

県は米国の宇宙開発企業「ヴァージン・オービット」社、ANAと共に大分空港のスペースポート化に向けた取組を進めています。

すでに、人工衛星事業の展開で基本合意に至り、本年から10年間で20回の打ち上げ目標が示されています。

早ければ、年内に第１回目の打ち上げが行われる予定で、大分にてアジア初の水平型の人工衛星打上拠点「宇宙港」の開港が期待されます。

■ 宇宙技術および科学の国際シンポジウム in 大分別府大会

大分からの人工衛星の打ち上げ前段に、宇宙活動の更なる活性化等を目的に、国内外の宇宙分野の専門家が一堂に集まる「ISTS（宇宙技術および科学の国際シンポジウム）」が開催（2/26～3/4）されます。

別府市のビーコンプラザを中心に、県内各地で多くの関連イベントが開かれます。

■ 県立さくらの杜高等支援学校が開校

知的障がいのある生徒を対象に、卒業後の企業への一般就労をめざした職業教育を行う高等部のみの特別支援学校が４月に開校（大分市東大道2-5-23）します。

１学年32名の「産業技術科」が設置され、生徒はトライアル学習を経て「クリーンコース」、「流通・販売コース」、「調理コース」の３コースを選択します。

履修期間は３年間で、希望する職業への就職活動を行って就労をめざします。

■ 第45回全国育樹祭

森を継続して守り育てることの大切さを普及・啓発するため1977年から、全国植樹祭を開催した都道府県において、国土緑化推進機構と開催県の共催で毎年秋季に行われています。

このたび、「豊かなおおいた　森林を育み　木と暮らし」をテーマに、2000年に全国植樹祭が行われた「県民の森」等を会場として開催されます。

■ 東アジア文化都市事業を実施

昨年開催された日中韓文化大臣会合において、東アジア文化都市の日本の2022年開催都市に大分県が選定されました。（前回は北九州市）

日中韓の３か国にて、都市間交流を含む様々な文化芸術行事を実施し、東アジア域内の相互理解・連帯化の形成促進を図ります。

なお、中国は済南市と温州市、韓国は慶州市が選定されています。

6月

▷第２回定例県議会開会、コロナ対策特別委員会

▶県内所管事務調査(日田市：水辺の郷おおやま他)

昨年の７月豪雨災害や長引くコロナ禍で苦境にたつ日田温泉協同組合の皆様と意見交換。「進撃の巨人 in HITA ミュージアム」では、作者「諫山創」氏のお父様（写真左）から説明をいただく。

7月

▶議員出前講座

県立芸術文化短期大学で、県議会の役割等を講演。コロナ禍で、大半の学生がオンライン参加。アンケートで「議会や選挙に対する関心が高まった」等の好評が寄せられました。

▷けんしん大学「次世代モビリティサービスと地域活性化」日本文理大学　教授 吉村 充功 氏

8月

▷第５回「山の日」記念全国大会（九重町）

▶夏休み子ども議会見学

県内15の小学校から児童が参加。「議員とのふれあいトーク」では、子ども達が議員役、議員が知事・執行部役。子ども達の素朴な質問に議員はタジタジ。

▷内外情勢調査会「政治の課題と地方の視点」：早稲田大学公共経営大学院教授 片山 善博 氏

▶ JCL BANK LEAGUE 2021（別府市）

（一社）ジャパンサイクリングリーグ「JCL」主催の自転車トラックレースが別府競輪場で開催。「九州に熱狂を生み、世界に挑む」をスローガンに活躍する、地元の「スパークル大分レーシングチーム」が見事に優勝を飾る。

9月

▷第３回定例県議会開会

▶県議会政策検討協議会

兵庫県豊岡市の前市長「中貝宗治」氏を招いての講演を聴講。有機農業を推進したコウノトリ野生復帰事業や演劇のまちづくりを取組み、地方創生にはジェンダーギャップの解消が必要と主張。

▷新型コロナウイルス感染症対策特別委員会、第３回定例県議会閉会

10月

▷新年度予算に関する県部局長協議、子ども食堂コンサート（加藤登紀子ほか）、埋蔵文化財センター５周年記念企画展式典、第49回衆議院総選挙

▶地域課題研究会 in 豊後大野市

小学校の ICT 教育や新装の市立図書館と並立する豊後大野市史料館「ふれあい．学びの杜（もり）」を見学。市長・教育長と地域課題に関して意見交換。

11月

▷大友氏顕彰フォーラム in 大分、第７回日台交流サミット（神戸市）、けんしん大学「ビジネス素養としての宇宙」：日本文理大学 宇宙航空工学科 教授 中川 稔彦 氏、先進建設・防災・減災技術フェア 2021（熊本県益城町）

▶夜間中学校に関する調査（福岡市）

様々な理由で義務教育を終了できなかった人等を対象に夜の時間帯に授業が行われる中学校が本年4月に福岡市に開校予定。現在ボランティアで取り組む自主夜間中学校を視察。

▷第４回定例県議会開会

12月

▷第４回定例県議会閉会、大分トリニータを支援する議員連盟総会、ハイパーネットワーク別府湾会議2021

▶大分県飲酒運転根絶フェア

「飲酒・酒気帯び」運転は何があろうと厳禁です。長引く「コロナ禍」で飲食の機会は減っているようですが、気を緩めることなく、飲んだ翌朝の運転前はアルコールチェックを。

コロナ対策等へ予算を追加

昨年末の議会では、国の経済対策に係る補正予算の成立及び県内の感染状況等を踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大防止や経済活動の回復、ポストコロナに向けた構造改革に取り組むとともに、災害に強い強靱な県土づくり等を進める補予算を議決いたしました。

＜補正後の一般会計予算＞

補正額の合計：　４５，５１１，３９２千円
既決予算額　：７３４，６８３，１２５千円
累計予算総額：７８０，１９４，５１７千円

（歳入財源の内訳）
○国庫支出金：　２４，４１３，６３５千円
○県　　債：　１５，８３４，０００千円
○繰 入 金：　３，８６７，８４７千円
○そ の 他：　１，３９５，９１０千円

【事業概要】　＊【】内の額は補正後の累計額

１．ワクチン接種体制緊急強化事業

高齢者をはじめとする希望者に対し３回目のワクチン接種を計画的に推進するため、市町村等と連携し、個別接種会場における接種回数の増など接種体制の強化に取り組む。

・接種回数を継続的に拡充した診療所への手当の支給
・接種を集中して行った医療機関への協力金の支給など
・県営接種センターの再開(令和4年2月(予定))

【４，７１２，０００千円】

２．新型コロナウイルス感染症対策事業

感染リスクを引き下げるとともに、県民の不安を解消するため、公費負担を行う PCR 等検査の対象者を拡大する。

・健康上の理由等によりワクチン接種を受けられない者が経済社会活動を行う際の検査を無償化（令和４年３月末まで）
・感染拡大の傾向が見られる場合、県の判断により感染の不安がある無症状者への PCR 等検査を無償化

【３，２４１，２８４千円】

３．国土強靱化５か年加速化対策関連公共事業

災害に強い強靱な県土づくりを加速させるため、緊急輸送道路の整備や河道の掘削、砂防ダムの建設、ため池の耐震化、農業水利施設の長寿命化等に集中的に取り組む。

【３２，４５０，０５７千円】

４．保育・介護職員等処遇改善事業

看護師、保育士、介護職員等の処遇改善を図るため、賃金引上げに要する経費に助成する。

・対象期間：令和４年２月～９月
・支 給 額：保育士・介護職員等 9,000円／月
　　看護職員　　4,000円／月

【３，０７７，０００千円】

５．地域消費喚起プレミアム商品券支援事業

県内の消費拡大や地域経済の活性化を図るため、市町村と連携し、プレミアム付商品券を発行する商工会・商工会議所等に対し助成する。

・補助対象：商品券のプレミアム部分（20%）及び事務費の１／２
・発行規模：130億円程度（市町村による上乗せ（10%程度）含む）

【２，４５０，０００千円】

６．観光産業リバイバル推進事業

ポストコロナの観光産業の復活に向け、観光素材の磨き上げや受入れ環境の整備等に取り組むとともに、観光関連事業者が行う施設改修等に要する経費に対し助成する。

・補助率：３／４　限度額：２２５万円

【３８２，５００千円】

７．地域公共交通運行継続緊急支援事業

感染症の影響で厳しい経営にある公共交通事業者の運行継続を図るため、車両の維持等に要する経費に対し助成する。

・感染防止対策済車両の維持管理への助成
　乗合バス 30万円／台、貸切バス 15万円／台
　タクシー 10万円／台など

【５１９，８３６千円】

竹の子記

新しく首相に選出された岸田氏は、「新しい資本主義」、「成長と分配」を柱に政策を進める決意を表明しました▼「新しい資本主義」とは、「持てる者と持たざる者の格差が広がった小泉改革以降の新自由主義政策を転換する」としており、安倍・菅政権の基本政策であった「アベノミクス」路線とは一線を画すとのことです▼その意気込みは良いのですが、気になるのは予てから噂される岸田氏の「ブレ」です。そう言えば、昨年の政権発足後に自身が打ち出した「金融所得課税の強化」をあっさり先送りしました▼また、現金とクーポンの給付も「現金のみでも良し」と方針転換。「分配」を優先するかと思えば、「いや、その前にまず成長。成長あっての分配です」と、アベノミクスに先祖返りする様な始末です▼新自由主義的政策で経済成長を第一に進めた結果、どの様な人々にそのシワ寄せが及んだのかは、この「コロナ禍」が明らかにしました▼アベノミクスの「分配」を得られなかった人たち、行革や規制改革で仕事や現場が切り詰められながらも、「コロナ禍」のもと必死に働く人たちに対し、「聞く力」を発揮していただくことを念じます。

公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。
ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
＊QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPはコチラ
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/